

令和5(2023)年度第2回栃木県国民健康保険運営協議会 会議の概要

1 開催日時 令和5(2023)年8月23日(水)13時00分～15時00分

2 開催場所 栃木県庁本館6階・大会議室2

3 議事の概要

(1) 栃木県国民健康保険運営方針(第3期)の策定に係る経過等について

(委員) 質疑等なし。

(2) 都道府県国民健康保険運営方針策定要領等を踏まえた対応(案)について

(委員) 今回のような内容は、量が膨大かつ特殊であるため、事前に資料を配付していただき、できるだけポイントを分かりやすくした方が良いと思います。

我々にも分かりやすい行政の形態を目指していただくと助かると思います。

(事務局) 貴重な御意見ありがとうございます。次回以降の改善に努めて参ります。

(委員) 今回、多くの資料をいただき、また、内容も詳細に記載いただいているため、自分自身で分かっていなかった点などを整理して質問内容を検討できたため、大変ありがたいと思います。

国民健康保険にとって、これから大変重要な内容を取り扱っていくことが理解できたと考えています。

(事務局) ありがとうございます。資料については、県だけではなく、市町とも調整した上で委員の皆様にも御意見を伺うこととしておりますが、今後とも分かりやすい資料となるよう努めて参ります。

(委員) 特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の目標値は60%とハードルが高いところですが、向上を目指す施策として、休日・夜間の受診機会の提供の検討とあります。

この内容は、現時点で市町が全く取り組んでいない状況なのでしょうか。それとも、ある程度の取組が見込める状況なのでしょうか。

(事務局) 休日・夜間の受診機会の提供については、ある程度の市町で取組が進められている状況ですが、十分な取組に至っていない市町も存在することから、機会の検討という表現としています。

(委員) 今回の素案を読んでみて、国民健康保険の財政運営が厳しい中で、決算補填等目的の法定外一般会計の繰入を行わずに健全な財政運営が重要であることが理解できました。

(事務局) 令和3(2021)年度まで、決算補填等目的の法定外一般会計の繰入を行っている市町が存在していましたが、現在は解消に至ったところです。

御意見のとおり、赤字にならない財政運営が重要となりますので、今後とも、健全な財政運営が確保されるよう、市町とも共有しながら努めて参ります。

(委員) 資料1の33ページのマイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴って導入される資格確認書について、交付基準の統一を検討していくとありますが、現時点での考え方などがあれば教えてもらえますか。

(事務局) 資格確認書はマイナンバーカードを持たない方に対する交付となりますが、例えば、資格確認書の有効期限や、被保険者ごとに異なる資格条件などの記載内容をどのようにしていくかなどが考えられます。

しかしながら、現時点では、国が制度設計を検討している状況であり、運用の詳細が示されておりません。引き続き、国に対しては、必要に応じて意見していきたいと思えます。

(委員) 資料 31 ページの市町村事務処理標準システムとは、どのようなものなのでしょうか。

(事務局) 市町村では、被保険者の資格管理などの事務についてシステムを介した処理を行っていますが、国では、デジタル・ガバメント実行計画に沿ったガバメントクラウド化を進めるとして、国が関与して設計を行う市町村事務処理標準システムを市町村が導入することで、国民健康保険の事務の標準化を図ろうとしているものです。

県内の市町では、既に民間企業のシステムを活用した事務処理を行っていますので、民間企業において市町村事務処理システムに準拠した改修が考えられることや、現時点で県内の多くの市町が市町村事務処理標準システムへの移行を希望していない状況であることから、次期運営方針において、市町村事務処理システムへの移行スケジュールなどを明記していく状況にはないと考えているところです。

(3) 栃木県国民健康保険運営方針(第3期)の素案について

(委員) 保険税水準の統一については記載された内容や進め方で良いと思えます。

また、そのほかの項目についても、追加された内容など具体的な記載となっており良いと思えます。

その中で、気になる点が2つあります。

1点目ですが、保険税の収納率について、資料3の8ページのグラフでは栃木県の収納率が全国的にも低い中で、取組の努力もあり着実に改善していると思えますが、注意しなければならない点として、新型コロナウイルス感染症拡大により、収入が一定程度減少した被保険者に対する保険税の減免措置によって、保険税の調定額自体が少なくなったことで、収納率を上昇させる作用が働いているかもしれない点を抑えておく必要があるのではないのでしょうか。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う保険税の減免措置が収納率に与える影響について、市町の状況を確認したいと思います。

(委員) 2点目ですが、診療報酬明細書(レセプト)点検について、資料3の27ページにおいて、13市町が2次点検を栃木県国民健康保険団体連合会(以下「国保連合会」という。)に委託している状況となっていますが、同会では、市町から受託した2次点検業務を民間に再委託しているという認識で良いのでしょうか。

(事務局) 国保連合会における業務の仕組みを正確には把握しておらず恐縮ですが、市町から受託した2次点検業務について、外部へ再委託を行っていたかと思えます。

(委員) 適正な保険給付に努めるべく、診療報酬明細書(レセプト)点検を行っていくことが重要ですが、現実的に、市町での2次点検について、マンパワーを含めて効果的な点検が可能であるのか疑問に思うところです。

資料3の30ページに記載された、保険給付の適正化に向けた今後の取組方針について、①保険給付の点検への意見となりますが、市町の2次点検に関するマンパワーと

効果を踏まえる、あるいは、2次点検の全体的な効果を踏まえるなどして、抜本的に点検体制を整備していく内容が望ましいのではないのでしょうか。

(事務局) 御意見いただいた点は、内容の確認を行いながら検討していきます。

記載内容に大きな変更は生じない場合もありますが、次回の協議会において実態等を御報告させていただきます。

(委員) 市町が国保連合会に委託して実施する2次点検業務ですが、1次点検自体を国保連合会で実施しているにもかかわらず、2次点検についても国保連合会に委託する意味はあるのでしょうか。

(事務局) 市町から2次点検を受託した国保連合会では、外部に再委託する等により1次点検とは異なる視点での点検を行っているものと考えられますが、先ほどの御意見と併せて、改めて確認の上、御報告させていただきます。

(委員) 資料3の8ページに記載された、保険税の収納率について、栃木県を含めて全国的に収納率が上昇している傾向となっており、栃木県の収納率と全国平均の収納率の差が縮小しているとの記載となっています。

例えば、全国順位が1位の都道府県の収納率や取組内容などのデータがあるのであれば、栃木県の取組の参考となるのではないのでしょうか。

(事務局) 国保税の収納率を上げていくことは重要な点ですが、県内それぞれの市町における収納率や取組の状況などについて、専門家を交えたヒアリングなどを行っているところ です。

御意見のとおり、全国的に収納率が上昇している傾向がありますが、市町の地域性が収納率に影響する部分なども考えられますので、市町の実情をよく確認しつつ、好事例があれば取組を促すなどの取組を行っているところです。

(委員) もちろん市町の取組の努力によって収納率が徐々に上昇していることとは思いますが、収納率が高い都道府県はどういった取組を行っていることが分かるのであれば、県内の市町での取組において役に立つのではないかと思ったところです。

(事務局) 収納率が高い都道府県内の市町村では、保険税のコンビニ納付やスマートフォンのアプリを通じた納付など、被保険者にとって利便性のある納付方法の普及が進んでいる可能生があると考えますし、滞納世帯に対する財産の差押えをどの程度まで実施しているかという点も収納率が上昇する要因の一つと考えられます。このため、本県では国税局OBの方を専門家として派遣して技術的助言を行うなどして、市町の取組を促進しているところです。

(委員) 栃木県の収納率は上昇していますが、全国的には下位となっているため、もう少し努力する余地があるのではないかと思ったところです。

全国順位が1位の都道府県は、スマートフォンのアプリを通じた納付方法の普及などが進んでいるのではないかと思いますので、そういった取組の努力が必要なのではないかと感じたところです。

(事務局) 他都道府県でもインターネットなどを通じた納付方法の普及を進めていることと思いますが、人口が多いほど滞納世帯数が多くなる場合も考えられ、例えば、県内では宇都宮市が最も収納率が低い状況となっています。

滞納世帯数が多いほど対応に苦慮することが考えられますので、他都道府県の取組も含め、好事例を市町に伝えながら、県内の収納率を底上げしていかなければならないと考えています。

(委員) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について、現在の供給状況は回復しているのでしょうか。

(委員) 2～3年度後には供給量が回復してくるのではないかとされていますが、臨床の現場では、例えば新型コロナウイルス感染症の影響もあって鎮痛剤が不足しているなど、製薬メーカーでの不祥事も相まって、特殊な薬品ほど供給量が不足する傾向にあると思います。

以上